

新キャンパスの附属図書館の命名について

京都市立芸術大学では、2023年に京都駅東部へのキャンパス全面移転を予定しており、整備予定の「附属図書館」に「伊藤記念図書館」と命名することを決定しました。

図書館に名前を冠することとなった伊藤謙介氏は、出身地の岡山県高梁市における、文化ホール建築や子どもたちの読書環境の充実への寄付を行われたほか、美術家育成を支援されるなど、これまでから、文化芸術の振興に多大な貢献をされています。

この度、伊藤氏から、京都市立芸術大学移転整備事業における附属図書館の整備及び図書資料等の充実のために、多額の御寄付をいただきました。ここには、長年、京都市に住み、働き、公私ともにお世話になった恩返しをしたい、また、読書を通じて人々の感性が豊かになり、京都市の文化芸術の基盤がより厚く、強くなってほしいとの、伊藤氏の思いが込められています。

今回の命名は、本学としてその御厚志に敬意を表し、末永く顕彰するものです。

【伊藤記念図書館完成予想図】



【伊藤謙介氏プロフィール】

- 1959年 京都セラミック株式会社
(現、京セラ株式会社)の創業に参画
- 1989年 同社社長就任
- 1999年 同社会長就任(2005年退任)
- 『心に吹く風』、『リーダーの魂』、『挫けない力』、『美を伴侶として生きる歓び』の著書あり